

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究
実施方法等

1. 実践校について

実践校名	岐阜大学教育学部附属中学校 (ぎふだいがくきょういくがくぶふぞくちゅうがっこう)		
学科名	生徒数	学級数	
	496	15	

2. 実践研究の対象

学 年：第2学年

学級数：4学級

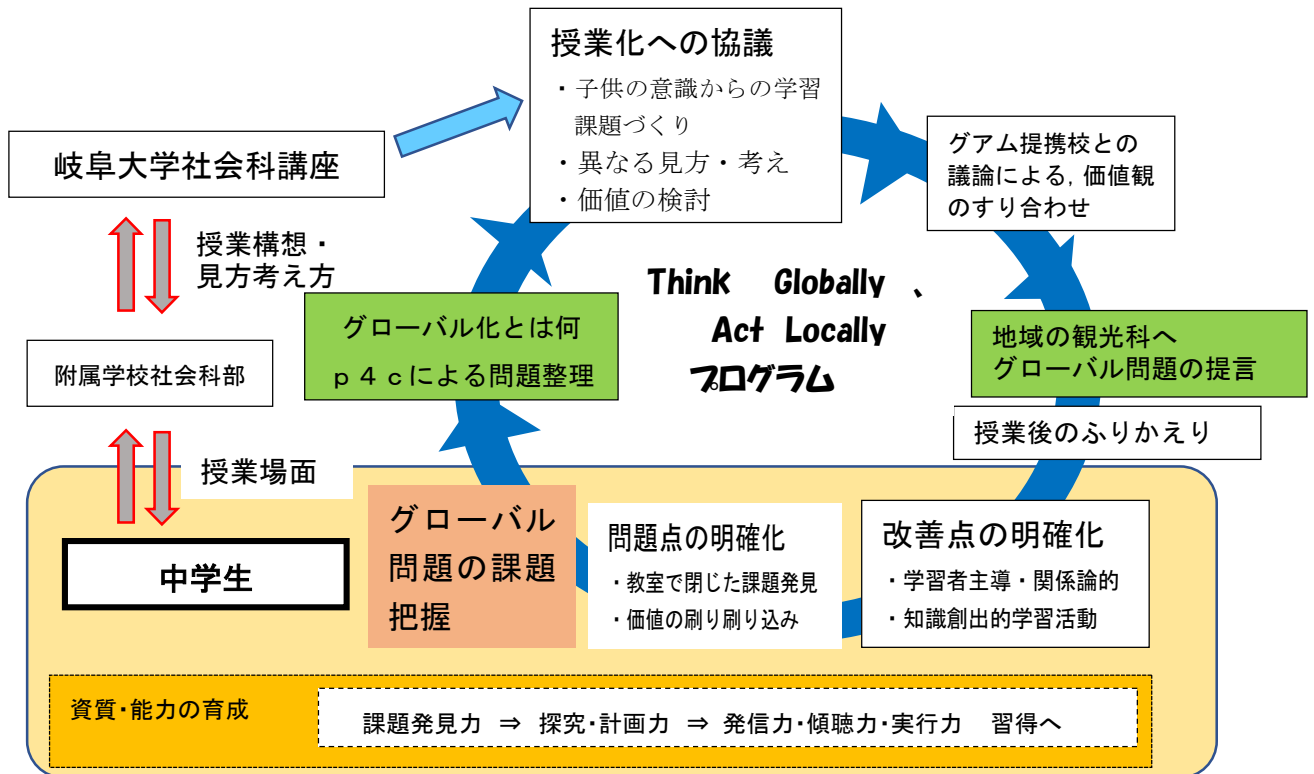
生徒数：159名

3. 実践研究の実施経過

1年次	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の確認 ・役割分担 ○海外連携校打ち合わせ (E-mail による) ○第2回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の確認 ○第3回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・授業案の検討 ○授業実践 ○第4回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題の振り返り ・次年度の計画確認
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ○研究発表会にて本実践の紹介 ○第5回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の確認 ○海外連携校打ち合わせ (現地及び E-mail による) ○第6回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の確認 ○第7回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・授業案の検討 ○授業実践 ○第8回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題の振り返り

4. 実践研究の実施体制

本実践研究の研究概要及び実施体制をまとめると次の図のようになる。教室にとどまっていた学びを，岐阜大学教育学部社会科教育講座との連携によって授業の構想を立て，岐阜市の観光コンベンション課や岐阜市内に支店をもつ旅行会社，グアムの提携校，岐阜大学の留学生との連携によって，生徒と実社会をつなぐプログラムを構築した。



5. 教育委員会等として取り組んだ内容

本実践研究の推進主体は，岐阜大学教育学部附属中学校へ設置した。一方で実践を進めていく上で岐阜大学教育学部社会科教育講座との協働体制をとり，実社会との接続における授業方法面の指導・助言をいただいた。また，学校外部の団体等や留学生との接続についても協力いただいた。

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム（概要）

実践校名：岐阜大学教育学部附属中学校**概要**

- 日本に招待した海外の学生をもてなす観光案内プランを考える活動を通して、外国に暮らす人々のもつ価値観に気づき、グローバルな視点に立って問題解決を図る資質・能力を育む学習プログラムを開発する。

学習プログラムの目標

- 日本に招待した海外の学生をもてなす観光案内プランを考える活動を通して、外国に暮らす人々のもつ価値観に気づき、グローバルな視点に立って問題解決を図る資質・能力
 - ・海外からの観光客が何を求めて日本へ来るのか、私たちの身近な地域ではそれに応えることができるのか、生徒自らが追究していくことで、グローバルな視野での問題解決を図る資質・能力の育成を目指す。

学習プログラムの主な内容

- ① 観光テーマを設定し見通しをもつ【社会科・3時間】
 - ・岐阜市役所観光コンベンション課の方の講話を聞き、岐阜市の観光案内の現状を知る。
 - ・p4c（子どものための哲学）の手法を用いて、グローバル化とは何か、海外の方をもてなすために留意する点について対話を行う。
 - ・生活班で、観光のテーマを設定し、観光案内プランの企画書を作成する。
- ② 観光テーマを追究する【社会科・3時間】
 - ・生活班で決めた観光のテーマについて、インターネットを活用した衛生授業を実施し、海外提携校のグアムにあるセントジョーンズスクールの学生から、さらに来校していただいた岐阜大学の留学生から聞き取り調査を実施する。
 - ・インターネットや書籍を活用した情報収集を行う。
- ③ 観光案内プランを作成する【社会科4時間】
 - ・旅行会社の方から、観光案内パンフレット作成の留意点についての講話を聞き、パンフレットのイメージをもつ。
 - ・岐阜市観光コンベンション課の方や旅行会社 JTB の方に来校していただき、生徒が作成している観光パンフレットについて適宜アドバイスをいただく。

- ・調査したことや情報収集したことをもとに、各班のテーマについて対話しながらよりよい観光案内プランを構想し、パンフレットを作成する。

④ 作成した観光案内プランを発表し、評価する【社会科・1時間】

- ・作成したものを発表し、アンケートや観光案内プランの説明等などの振り返り、評価する。

学習プログラムの成果の概要

- 日本に招待した海外の学生をもてなす観光案内プランを考えることで、海外の方との価値観の違いや、その国の人や文化をよく知ること、自国の文化や地域の魅力についてよく知っておくことなど、グローバル化に対する考えが深まった。
 - ・83.9%の生徒が「深まった」と回答した。
(とても深まった…38.4% やや深まった…45.5%)
- 海外の方から直接話を聞いたことは、グローバルな視点で考えていく際にそれぞれの価値観の違いに気づくことにつながりとても有効であった。
 - ・93.1%の生徒が「有効だった」と回答した。
(とても有効だった…54.5% やや有効だった…38.6%)
- 地域で生活する外部の方に講師に来ていただくことで、中学生にはない視点で問題解決していくことができた。
 - ・85.3%の生徒が「有効だった」と回答した。
(とても有効だった…37.3% やや有効だった 48.0%)